

# 山形県立高等学校キャンパス制設置要綱

## 第1条（目的）

この要綱は、1学年1～3学級の高校（以下「小規模校」という）が、将来の統合を視野に、地域の協力の下、近隣の高校と連携・交流することにより、適正規模の高校に準じた教育環境を確保する制度（以下「キャンパス制」という）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

## 第2条（対象校）

- (1) 1学年1学級規模の高校は、原則対象とする。ただし、近隣の高校との距離が遠く、連携・交流が困難な場合は対象外とする。
- (2) 1学年2、3学級規模の高校については、地区ごとの検討委員会等による検討を踏まえ、導入を進める。

## 第3条（導入条件）

小規模校が近隣の高校とキャンパス制を組み、両校あわせて適正規模になること。

## 第4条（導入方法）

- (1) 県立高校教育改革実施計画の年次計画で、導入校及び導入時期を示す。
- (2) 導入に当たっては、地域の理解と協力を得るとともに、教育環境の改善に向けた取組みを自律的に行うことを主要な目的として、当該校の校長を初めとする教職員等による運営準備委員会を設置し、2年を目途に導入する。

## 第5条（運営委員会・評価委員会の設置）

キャンパス制の実施に当たっては、連携・交流の円滑な推進に必要な事項を協議するため、運営委員会及び評価委員会を設置する。

- (1) 運営委員会について
  - ア 連携・交流の内容及び円滑かつ効果的な運営に関することについて協議し、連携・交流の充実に向けて必要な業務を行う。
  - イ 運営委員会は、当該校の校長、教頭及び校長が指名する教職員で構成する。
  - ウ 事務を処理するため、一方の高校に事務局を置く。
- (2) 評価委員会について
  - ア 連携・交流の成果について評価し、連携・交流の改善に向けて必要な業務を行う。
  - イ 評価委員会は、校長が、学校や地域の実情に応じて保護者や地域の代表者等、適任と判断した者で構成する。
  - ウ 事務を処理するため、一方の高校に事務局を置く。

## 第6条（実施計画及び実施報告の提出）

運営委員会の事務局校の校長は、連携する高校の校長と十分協議し、次により実施計画及び実施報告を教育長に提出する。

- (1) 毎年度5月末までに、実施計画書を提出する。
- (2) 毎年度3月末までに、実施報告書に評価委員会の評価結果を添えて提出する。

## 第7条（連携・交流のあり方）

- (1) 生徒の多様な進路の実現を図るため、出張授業により選択科目の充実や習熟度別授業、TT等、教育課程上の教育環境を確保する。
- (2) 異なる環境で学ぶ生徒同士が交流を通して視野を広げ、豊かな人間性を育む。
- (3) 連携・交流によって教員の資質向上を図り、魅力ある学校づくりを推進する。
- (4) 地域の教育資源を活用し、地域に根ざした学校づくりを推進する。
- (5) 具体的な連携・交流については、それぞれの高校の特色が生かされるよう、運営準備委員会及び運営委員会で協議し決定する。

(附則) この要綱は、平成22年2月17日から施行する。